

「平和の語り部」 澤田先生のご講話 感想

特攻機という爆弾をつんだ飛行機が、パイロットを乗せたまま相手に突っ込んでいって爆発するというのが、すごく残酷で悲惨だと思いました。食べられるものもほとんどなくて餓死する人が多かったと聞いて、すごく苦しい生活をしていたんだなと思いました。もう二度と戦争を繰り返してはいけないと強く思いました。

「平和の語りべ」 澤田先生のご講話 感想

本当に起こった戦争の話を聞いたら、戦争の怖さ、恐ろしさ、過酷さ、辛さが伝わってきました。厳しい指導を受けて自殺した人もいたという話なので、どんなに厳しい指導なのかと思いました。昔の人は戦争で親族を失う人もおり、それでも生きる人がすごいなと思いました。二度と昔の過ちをおかさないように、戦争を体験した人の記憶を受け継いで伝えていこうと思いました。そして精一杯生きていこうと思いました。

「平和の語りべ」 澤田先生のご講話 感想

今回のお話で一番驚いたのは、特攻隊です。アメリカは日本に対して、「若者に死を強制する国」と言っていました。全くその通りだと思いました。経済大陸であるアメリカに圧倒されていく様子を聞いているとき、日本が勝てるわけなかったのだとわかりました。戦争中も、終わった後も、食料がなくて困っていたのを聞いて、たらふく食べられる今はとても幸せなんだと思いました。昔の人たちが頑張って戦ったおかげである「今」を精一杯生きていきたいです。

「平和の語りべ」 澤田先生のご講話 感想

人を乗せたまま、爆弾を積んだ飛行機を突っ込ませる作戦が残酷で悲しかったです。この作戦の一人目の人が、愛媛県の西条市の人だったのでびっくりしました。

僕たちがこの時代で生まれたのは、とても幸せなことだと改めて思いました。

衝撃だったのは、銃の部品をなくしただけで、トイレで首を絞めて死ぬと聞いたときとてもびっくりしました。

また話を聞ける機会があったら、もう一度聞きたいです。

「平和の語りべ」 澤田先生のご講話 感想

私が『平和の語り部』で心に残ったことは、特攻隊という人間爆弾として兵士が死んでいくのがとても心に残りました。まさか、死を承知で自ら爆弾として死んでいくとは思わず、声が漏れ出そうでした。

次に、ニューギニアに行くと、生存率は5%ということでした。残りの95%は、澤田先生は、輸送船で撃沈したり、食料がなく餓死したりするからだ、とおっしゃっていました。戦争に行くだけでこんなめに合うなんて、思いもしなかったです。

私がこの時代に生まれてきてよかったと、改めて思いました。

このことを後世に伝えて、忘れないようにしていきたいです。

「平和の語りべ」 澤田先生のご講話 感想

私たちは、この安全な時代に生まれ、育っていききましたが、昔では、いつも死と隣り合わせで、栄養も全く取れず、つらい生活をしていたということを知りました。

澤田先生のお話も、わかりやすく、くわしく教えてもらえ、戦争との悲惨さを知りました。

この悲惨さや戦後のつらい生活のことを、次の世代の人たちに伝えていきたいです。

総合「輝け！命」

平和の語り部（中山さん）の話を聞いて

感想

爆弾が落とされたせいで、松山が焼け野原になったことを知り、戦争というのはとても残酷なものだと感じました。

中山さんが子供のころの憲法は、明治憲法と言います、今の日本国憲法とは違うものだったことが分かりました。中山さんが子供のころの憲法では、天皇のために死ぬのは当然な世の中だったのだと知りました。今は、天皇のために死んだりはいませんが、昔は、それが当たり前だったのだと知り驚きました。

また、戦争中は、贅沢はできないし、中学校での授業は今のようには学習をするのでないのだと知りました。学校では、手りゅう弾の模型を遠くに投げる訓練をしたり、敵を蹴りつける練習をしたりしていたと聞きました。

日本は、南を目指して襲撃していたことや南の海が人の血で真っ赤だったことなども分かり、とても勉強になりました。

総合「輝け！命」

平和の語り部（中山さん）の話を聞いて

感想

私は、中山さんのお話を聞いて驚いたことがあります。それは、学校での勉強のことです。学校の学習で、ほふく前進をしたり、焼夷弾を投げる練習をしたりしているというのが、とても驚きました。また、中学校に進学できるのは、子供の約30%ということにも驚きました。今は当たり前のように学校へ行って、当たり前のように勉強しているから、その頃は戦争を、子供も巻き込ませているんだなあと思いました。中学3年生以上になると、兵隊として戦場に行くということがあったということで、今ではありえないと思いました。

食料不足のとき、そのへんにいるイナゴなどの虫を焼いて串に刺し、食べるということがよくあり、また、その当時はそのイナゴがとても美味しい食材だったということにも驚きました。

他にもその当時の憲法では、国民主権ではなく、天皇主権だったことも知り、今とは全く違う憲法だったんだなあと思いました。中山さんの話を聞いたり、平和学習をしたりすることで、戦争の悲惨さを知り、絶対に起こしてはならないものだということを感じました。

総合「輝け！命」

平和の語り部（中山さん）の話を聞いて

感想

僕は、中山さんから話を聞いて、戦争を今でも僕たち小学生に伝えていることがすごいと思いました。戦争を経験し、原爆を見ている人は、凄く少ないと思うので、僕たちにとってとてもありがたいことだと思いました。

昔の中学校に行っていた人の割合が30%だと聞き、今では考えられないなと思いました。そんな状況の中、中山さんは中学校へ行き授業を受けていたことや体育の授業が今の楽しいものとは違い、軍隊のような訓練だということに驚きました。それが普通だというのがおかしいと思います。原爆が落ちた時家族が全員生きているのも奇跡だと思いました。

また、戦争中の食事も知ることができました。今では食べるイメージのないいなごを食べていたのに驚きました。戦争のことを知るきっかけにもなると思うので、僕も一度食べてみたいと思いました。

戦争で、211万4400人亡くなったと聞き、戦争は絶対やってはいけないことだし、日本以外の国も絶対やらない方がいいと思いました。タイムリープできるなら戦争を止めたいです。

総合「輝け！命」

平和の語り部（中山さん）の話を聞いて

感想

私は、中山さんの話を聞いて戦争の怖さを改めて感じました。

今私たちが暮らしている松山にも空襲警報が鳴っていたことに驚きました。ゲリラ豪雨くらいの音で爆弾？がふってきたというのが聞いているだけでも怖かったです。そのほかにも、南の海が血にそまって川に顔を入れたまま亡くなったりとても残酷なことがわかりました。

戦争で、310万人もの日本人がなくなったり、ヨーロッパの全体では6000万人がなくなっただけを知りました。一日に約9400人が殺されつ続け、それが毎日続く中生活するのはとても怖いだろうなと思いました。秒速400メートルの鉄砲で撃たれ続けたことも怖かったです。

中山さんのお話から、戦争の怖さや悲しみをとても感じ、今過ごしている生活当たり前に思わず、この思いを次の世代にも受け継いで行きたいです。

平和の語り部（中山さん）の話を聞いて

感想

私は、広島に原爆が落とされたことは知っていたけれど、松山の空襲についてはあまり知らず、体験談を聞くのも初めてだったので、今までよりもっと戦争について深く考えることができました。実際に空襲が起きたことを聞いて、爆弾が上から振ってくるなんて、どれほどの恐怖だったのか、想像するだけで恐ろしいです。松山でも戦時中は、『黒焦げの遺体』や『首が取れた遺体』などがあったと聞いて、途中から、中山さんの話をしっかり聞くのが怖くなりました。

また、学校生活についても知らないことがありました。今の中学校は義務教育のため、絶対に行かないといけないのに、昔は、30%ほどしか行ってなかったと聞いて、驚き、今の自分は恵まれているのだと思いました。

中山さんのお話は、今までやこれからも聞くことのできない貴重なものだと感じ、実際に戦争を経験した人がいなくなったとしても私たちが語り継いで悲惨な戦争は、二度と起こさないようにしていきます。

平和の語り部で心に残ったことは2つあります。1つ目は、「平和と言われたら、何色を思いうかべる?」と聞かれたときです。私は黄色を思いうかべました。理由は、黄色はやさしい感じがしたし、笑顔を表すような感じもしたからです。黄色以外にも、赤や緑、黒など聞いてびっくりしました。竹内さんの話で、「黒は何色にも変われないから戦争もそんな風になってほしいと高校生が言っていた」と聞いて、とても感動しました。そういう考えはなかった、本当にまちかえうと思ってからです。2つ目はげんばくたいけん者からのお話です。私は実際にげんばくや戦争を体験したことがなかったけど、お話を聞いて、本当にげんばくや戦争はおそろしいものだとあらためて実感しました。今後日本で戦争が起きることはないと思うけど、今世界で起きていることにも目を向け、自分にできることをして、1人でもしあわせになてほしいです。今日は本当にありがとうございました。

武器アートがかなり重くて、戦争で使われていた時はいかがそうとう強いだらうな、と思いました。「平和」の色が人それぞれでろがうけど、平和な世界になってほしい、と思うのはみんな同じだと思いました。中でも、「黒色。平和はとても大事なことで、変わってほしくないから黒だ」と思う。という言葉がとてもすてきな、と思いました。竹内さんは、村の人たちと一から公民館を立てたり、井戸を作ったりして、村の人たちにとって、ヒーローのような存在になっている、と思いました。また、戦争のイメージがどの国も共通で「血の色の赤」と考えているのは、「戦争がいけない、悲しいこと」という共通の思いがあるから同じ考えになったのかな、と感じました。竹内さんは、「どの国もすばらしい所がそれぞれある。だから一番は決められない。」とおっしゃっていて、それぞれの国のすてきな所を見つけられる竹内さんもすてきな人だな、と思いました。

おたがいの良さをみとめ合えれば「平和」になりますね。

まず一番心にのこったのは平和の色
についてです。

自分は黄色だったけど、周りの
人は空の青色だったり別の国では白色
で、なんでかなと思ったけど「ホワイトハウス」

の話を知って気になって家で調べ
ました。そして平和の逆の色について

質問をしたときに、赤は血の色を表していて
国旗も血を表しているところがあるなど

たくさんのがわかりました。

実際に戦争を経験した人の話を聞いて

戦争は絶対にしてはいけないという思いが
より強まりました。

ぼくは、平和の語り部の竹内よしこさんの話を聞いて、平和のことについて、たくさん学びました。とくに、モザンビークがためていた武器をかい造して、つくった武器アートがびっくりしました。本物のじゅうで作ったアート作品だったので、少しこわかったです。たけど、さくくに本物のじゅうで作られていたから、戦争のこわさが伝わりました。本物のじゅうをさめたことを家でも話しました。とても大きなたりけんだったので、一生あすめないと思います。そして、他に「平和」の色のイメージは、緑や、黄緑だと思っています。理由は、戦争では里予原がてまのはくけきで、やけ野原になって、赤や黒になるけど、平和の時の野原では、緑なので、緑だと自分は、思います。たくさん「平和」についての話をしてくささ。てありがとうございます。

☆ 今日の話を聞いて、思ったことや考えたことをまとめよう。

今日は戦争の被害や平和の大切さについて
知りました。お話の中で特に心に残ったことが
2つあります。1つ目は松山大空襲です。松山も
はくげき機が来たそうです。でも焼け野原から希望を
持て復興していくことはとても難しいことだと思うけど
かえって当時の人がすごいと思いました。2つ目は
当時の正義についてです。せいたくは禁止『食べる物を
服もありませんでした。特攻隊は国のためには
死んでもいいと言われて…ぼくはそんな正義は絶対いや
です。今日のお話を通して修学旅行でも新しいことを
身につけたり、被害を受けた人の思いをつないで
後世に伝えることが自分にできること
だと思いました。

☆ 今日の話を聞いて、思ったことや考えたことをまとめよう。

心に残ったことはとても小さな戦争をしても
今の不自由の無い暮らしができるということです。あんな
にたくさんのおぼくさんをおとされても復興する
のかとても不思議です。学んだことは松山市やほかの
県にたくさんのおぼくさんが 暮らさず、苦
しみで…いたこと、正しい正義は後の世代に
受けつぐことです。
話の中でびっくりしたことは、沖縄にもおぼくさん
がおちたことです。あんなに自然豊かな
沖縄にたくさん落ちたたくさんの方がおちて
いることをまなびました。それにぼくさんとよくを
持て自分から死ぬ、かくこをしてはくげきさせ
たりするのはいまでは考えられないと思いました。

☆ 今日の話を聞いて、思ったことや考えたことをまとめよう。

松山大空襲では、たった1時間で町が焼け、
野原にのみ、死者数も251人と結構な数だけ、
東京大空襲は1万人、沖縄戦は20万人と松山より
おちた数、いた多く、なぜそんなに犠牲者をおとさ
まで戦争をするのだろうと思いました。他にもひめ
つり学徒隊の人たちは13才以上からは戦争で重傷
を負った人の手廻りや伝いをして、それだけで
相当きつりに、必要がなくなったらおぼくさんと
毒をあげてけつたりがして、その人たちは、苦し
みからよくなるといったと思うといかりがたくさんか
きました。それでも生き残った人たちは一生けん命生き
私たちがまでつかいてくれたので、私月この命をわたらせず
未来の人たちにつなげるために生きようと思います。

☆ 今日の話を聞いて、思ったことや考えたことをまとめよう。

今日平和の語り部の方にお話を聞き改めて戦争の
おそろしさと平和のとうとを深く感じました。私に心
に残ったことを3つ話します。1つ目は、3パンスの
歌詞です。「何のために生まれて何を生きるのか」。私は
これを聞いて、本当に感激しました。私は何のために生まれたのか
何を生きるのかを一度も考えたことはありませんでした。
けれどこの大事な言葉を聞き、目標やゆめをみつけた時、
しっかりと、1日、1日大切にしながら生きていきたいです。
2つ目は、ひめつり学とたいの人達です。私はそのかん
ごしの仕事をしていた人をしてあげたけれど、ふかく考えたこと
はあきらめた。けれど、その人達の仕事やその後のことを
きくと泣きそうになるくらいかなしくなりました。この人達の
つらさを考えるといろ、戦争のおそろしさをみんなに
伝えたいと思いました。
たくさんのお話を聞き、また新しく学んだことがたくさん
ありました。

☆ 今日の話を聞いて、思ったことや考えたことをまとめよう。

私が一番思ったことは、「戦争は
もう決して起きてはならない」と
いうことです。松山大空襲の話を
聞いたときに、「人があとかたもなくふき
とぶことがあるのだろうか」と思いましたが
それが実際に起きているのが恐ろしいとこ
ろだと感じました。ひめつり学徒隊の話
を聞いたときに、私はとても悲しくなりました。
働かされて持たされた子供たちがいたことは
とてもいけないことだけれど、そうするしかなか
った状況を作り出した戦争は、もっともつけ
ばにとだと思ひます。人は戦争を起すこともめ
ることもできるので、その力をいい方向に使うとい
思ひました。

